

あぶた福祉会

第29回

うららかなる時を

「ケアホーム」「うらら」 の開設について

4 月より青葉地区に建設が進められていました、高齢・

重度者住居『ケアホームうらら』が8月に完成し、関係各位をお招きしての見学会や、引越なども終わり、この10月に無事開設することができました。共同住居の名所は「うらら」。「うらら（麗らか）」とは、陽光が晴れ晴れと照る様子、春の暖かな陽射しがやわらかく輝きわたり、周囲の何もかもが微笑んでいるように美しく見える様子をいいます。入居された方

ちが、これから寒くなるけれど春のような暖かな陽射しを浴びながら、何も心配事がない、のどかな時を過ごしてほしいという思いを込めて名付けられました。

入居された方は、57歳から73歳までの方で、健康面や精神面において細やかな配慮が必要である、男女8名になります。当初は新しい住居へ移る事への不安と期待などが入り混じり、落ち着かない方もおりましたが、広々とした空間のリビングや居室、使い勝手の良い設備、安全を守るためのスプリングクラーなどで、24時間体制で支援にあたる世話人のもと、現在は安定した生活を送りつつあります。

リビングには天窓から柔らかな暖かい陽射しが差し込み、入居された方たちを優しく包み込みます。「麗らか」な時を与えてくれるかのように…。

光に照らされ、輝く笑顔を守るために、私たちも麗らかでありながら、同時に緊張感を持ち努力を重ねていきたいと思いま

す。

青葉地区においては、初めてのケア・ホームになります。住民の皆様にはいろいろとお世話になると思いますが、よろしくお願いたします。

（地域サポートセンターふれんど）

涙のゆうあいフェスティバル

9月18日、清水友愛の里特設会場にて、ゆうあいフェスティバルが開催されました。

開催1週間前から不安定な天候が続いており、当日も晴れる見込みが低く、天気予報を見ては毎日変わる降水確率に、せめて雨だけは降らないでほしいという気持ちでいっぱいでした。しかし、そのような思いも届かず、当日は残念ながら雨となってしまう、内容を大幅に変更ざるを得なくなってしまう事態。予定していたお琴演奏、北島良人氏による歌のステージ、フラダンス、利用者カラオケ大会の全ての催し物を中止し、作



ゆうあいフェスティバルで楽しいひとときを過ごす皆さん

業棟前での食事と、作業棟内での縁日、高齢者活動班いこいで制作した作品展示のみといった物足りなさの残る内容となってしまういました。

その中でも、おにぎりや天ぷら蕎麦セットや焼鳥、フランクフルトなどのボリューム満点の食事内容は、参加した方たちに満足していただけたかと思えます。今年、3月に起きた東日本大震災で、大きな被害を受けた福島県のご当地メニュー『浪江焼きそば』を復興支援の意味合いも含め提供させていただきました。

縁日においては、わたあめは中止となりましたが、射的、輪投げ、くじ引きを行い、お祭り気分を少しでも味わうことができたのではないかと思います。

新商品 古新聞回収袋

読み終わった新聞を袋に入れ、袋がいっぱいになったら底に付いている紐を引っ張り出して、そのまま縛って回収場所に出せる便利グッズです。一度お試しください。

3枚セットで100円です。デイセンターいちばんばしにて販売しております。



古新聞回収袋

■お問合せ 製造・販売 デイセンターいちばんばし（泉5番地・☎76-1240）



完成したケアホーム「うらら」